

ミナミハンドウイルカの個体識別調査結果 (2024年)

今号では、2024年に実施したミナミハンドウイルカの個体識別調査の結果をご報告します。2024年は、賀島列島周辺海域7回、父島列島周辺海域14回、母島列島周辺海域4回の調査を行い、皆様からご提供いただいたデータと合わせて、計101個体を識別することができました。また、これまでの累計識別個体数は308頭となりました。調査実施にあたって、貴重な情報やデータをご提供くださった皆様に改めて御礼申し上げます。2025年もどうぞよろしくお願いいたします。

最も出会えたイルカたち



#347 アイーン (♀) 観察歴：2018年～ 確認海域：父島列島



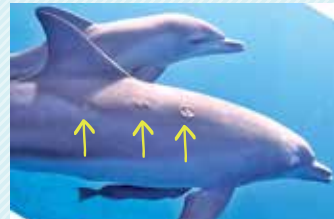
下あごが大きくしゃくれたメスイルカ。背ビレの真ん中に欠損があるため、船上からでも識別可能です。母親は#59 (ペロちゃん) で、兄 (#321・Bライン) と生後1年半ほどの弟 (#408) がいます。親離れするまでの期間が長く、生後4~5年間ほど母親と行動を共にしていました。2年連続で「もっとも出会えたイルカ」となりました。

#336 Y2カット (メス) と #388 だいふく (オス) 親子
観察歴：Y2カット2016年～、だいふく 2022年～ 確認海域：父島列島

母親の#336 (Y2カット) は、尾柄部付近に切れ込みが2つあるのが特徴。2024年7月には、ハシナギイルカの新生児を連れてるのが確認されました。子供の#388 (だいふく) は初確認から丸3年が経過しており、そろそろ親離れの時期かもしれません。

#3 13回 #266 EYE (♀) 観察歴：2010年～ 確認海域：賀島列島、父島列島

体の右側に目のように見える2つのダルマザメ跡があるのが特徴でしたが、新たにダルマザメに咬まれており、3つ目になりそうな予感です。この夏、初の出産が確認されました。



#3 13回 #337 凹み君 (♂) 観察歴：2017年～ 確認海域：父島列島



背ビレの後方に大きな凹みがあるのが特徴。#347 (アイーン) と似て、背ビレの真ん中が欠けています。

クジラの陸上観察会のお知らせ

ザトウクジラの来遊シーズン中、おがさわら丸入港日の夕方に父島・ウェザーステーション展望台および母島・鯨ヶ崎展望台にて「クジラの陸上観察会」を開催いたします。それぞれの実施日時は次の通りです。ご興味のある方、ご参加お待ちしております。

【父島】

場所：ウェザーステーション展望台
日程：1/22~4/8のおがさわら丸入港日
時間：16時~17時

【母島】

場所：鯨ヶ崎展望台
日程：1/29~3/27のおがさわら丸入港日を予定
(詳細は母島観光協会のHPをご覧ください。)
時間：16時30分~日没



※どちらも参加無料。事前申込不要、現地集合・解散 ※天候・海況不良の場合は中止

一般社団法人 小笠原ホエールウォッチング協会 URL <https://www.owa1989.com/>
〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町 TEL 04998-2-3215 e-mail info@owa1989.com

イルカ通信はOWAのホームページ (<https://www.owa1989.com/owa/dolphin>) からダウンロードできます(無料)